

## ゲームの中のいじめに気付いた私

中一

私はゲームが好きだ。特に、友達と一緒にオンラインで協力しながら遊ぶゲームが楽しい。学校が終わって家に帰ると、ボイスチャットをつないで、みんなで笑いながら遊ぶことが毎日の楽しみだった。そんなゲームの世界で、私は人権について考えることになるきっかけに出合った。

ある日、いつものように友達とチームを組んで遊んでいると、見知らぬプレイヤーがチームに加わった。その人は、操作に慣れていない様子で、チームの動きにもついていくことができなかった。間違った場所に行ってしまったり、ルールをよく分かっていないような行動を取ったりしたために、試合に負けてしまうことが何度かあった。

すると、友達の一人がチャットで「まじで下手すぎ。」「何してんの。」「強い言葉でその人を責めはじめた。他の子も「これはわざと。」「足引っ張ってるだけじゃん。」と笑いながら同じような言葉を続けた。

私は何も言えなかった。ただ、その場の空気の流れされて、止めることもせずに黙っていた。すると、そのプレイヤーは、何も言わずに試合の途中でゲームを抜けてしまった。その後も何日か遊んでみたけれど、その人がまた現れることはなかった。

私は、そのことがずっと心に残っていた。「ただのゲームだし、仕方ないよね。」と思うとしたけれど、本当にそうだったのか、自分の中で答えが出なかった。そしてある日、その人のプロフィールを何気なく見てみた。そこには、たった一言だけメッセージが残されていた。「楽しく遊びたかっただけなのに、ごめんなさい。」

その言葉を見たとき、私は胸がギュッと締めつけられるような気持ちになった。きつと、あの人も私たちと同じように、楽しく遊びたくてゲームに参加しに来たのだ。それなのに、少し慣れていなかっただけで責められ、笑われ、何も言い返せないまま姿を消してしまった。

私は、その人のことを直接傷つけるようなことは言わなかった。だけど、何も言わずにその場を見ていた私の態度も、同じようにいけなかったの

だと思う。「自分は言っていないから関係ない。」  
と思うことが、どれほど無責任だったか、今なら  
よく分かる。

現実の世界では、誰かがいじめられていたら止  
めなければいけない。学校でもそう教えられてき  
た。でも、ゲームの中やネットの中では、顔が見  
えないせいか、みんなの言葉がきつくなりがちだ。  
目の前にいなくても、相手にはちゃんと心がある。  
たった一言で、深く傷ついてしまうこともある。

それから私は、自分の態度を変えることにした。  
知らない人がチームに入ってきたら、「よろしく  
ね。」「分からなかったら聞いてね。」と声をかけ  
るようにした。すると、その人が「ありがとう。  
」と返してくれることもあつて、少しだけ心  
が通じた気がしてうれしかった。

最近では、前よりもみんなの言葉づかいが柔ら  
かくなってきたように感じる。たった一人の行動  
でも、少しずつ周りに影響を与えられるのもし  
れない。

私は、ゲームの中にも人権があると思う。人権  
とは、人が人らしく生きるための当たり前の権利。  
そして、相手の気持ちを思いやることも、その一

つだと思う。ゲームの中だからこそ、言葉を選ぶ  
こと、相手を大切にすることを忘れてはいけない。  
もし、また誰かが傷ついている場面に出合った  
ら、今度こそ私は声をあげたい。「それは違ふ  
よ。」と勇気を出して言いたい。そう思わせてく  
れた、あのときのプレイヤーの言葉を、私はきつ  
と一生忘れない。